

2020年1月16日

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントルシア）
カストリーズごみ収集車再利用計画に関する署名式

2020年1月16日、セントルシア外務省で、令和元年度草の根・人間安全保障無償資金協力であるカストリーズごみ収集車再利用計画の署名式が行われました。被供与団体であるセントルシア廃棄物公社は、日本政府の供与額80,041米ドルの無償資金を利用し、ごみ収集車3台を調達し、カストリーズ地域のごみの効率的回収及び美観の維持に貢献することが期待されます。

本式典では、平山達夫セントルシア日本国大使及びエムリン・ジャー廃棄物公社情報通信責任者が贈与契約に署名しました。また、ゲイル・T・C・リゴバート教育・技術革新・ジェンダー関係・持続可能な開発大臣及びサラ・フロッド＝ボブラン外務担当大臣、小林勤 JICA セントルシア事務所長他も出席しました。

平山大使は挨拶の中で、両国は同じ島国として自然災害や廃棄物処理等の共通の課題を有し、このごみ収集車により、ごみの適切な廃棄やごみ削減、リサイクルといった市民の意識改革につながることを期待すると述べました。

リゴバート大臣は、日本での研修参加の経験から、日本でリサイクルが進んでいることは承知している。当国も循環型社会を目指しており、この収集車は大きな効果をもたらすと確信しており、日本側に感謝すると述べられました。フロッド＝ボブラン大臣（カストリーズセントラル地区選出）は、日本が支援要請に迅速にこたえてくれることに感謝する。日本は地域社会に根付く支援にも熱心な模範的な援助国であると謝辞を述べられました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp





平山達夫大使によるスピーチ



ゲイル・T・C・リゴバート大臣によるスピーチ



サラ・フロッド＝ポブラン外務担当大臣によるスピーチ



平山大使とエムリン・ジャー情報通信責任者が署名後に握手をする様子



左一右 片山典子 JICA 企画調査員, エムリン・ジャーセントルシア情報通信責任者, ゲイル・T・C・リゴバート大臣, 平山達夫大使, サラ・フロッド＝ポブラン外務担当大臣, ミッシェル・ジン・パプティスト氏, ナディーン・ジン・パプティスト氏, アイリーン・ガスパード外務・国際貿易・民間航空省次官, 小林勤 JICA セントルシア事務所長

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

